2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理総論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 月曜3限	教室名	5校舎9階
担 当 教 員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理学検定の対策についてここからスタートします。 まずはA領域を8月に受験することを想定した内容の講義を展開します。 授業形式の大部分はグループワークの成果を班ごとに発表と質疑応答によって構成されます。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト及び定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜プリント配布 参考図書:『心理学検定-基本キーワード改定版-』(日本心理学諸学会連合, 2015, 実務教育出版社) A領域分野を中心に学習します。						
《授業外における学習方法》						
担当する発表に合わせて事前に準備を進めてください、授業時間外も大切です。 課題学習や関連領域教科書の熟読に加え検定対策アプリ等も使い学習効果を高めましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
この講義では、8月に実施される検定試験対策として正文法学習を活用し、分野ごとに自分たちが調べたものをアウトプット(解説の発表)するところまでを実施します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学検定についてのオリエンテーション 講義の流れを伝える。	各チームで分担する試験問題の配布	班分けと、学習テーマの選定など授業ですることを説明します。	
		各コマにおける授業予定	心理学検定までの期間で学習戦略を理解できる。 この期間ですべきことを理解し実行の準備ができる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	原理・研究法・歴史科目 分野			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	原理・研究法・歴史科目 分野			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	原理・研究法・歴史科目 分野			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	学習・認知・知覚 分野			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	学習・認知・知覚 分野		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	発達・教育 分野		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	発達・教育 分野		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	社会・感情・性格 分野		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	社会・感情・性格 分野		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	社会・感情・性格 分野		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床・障害 分野		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	班ごとに問題とその答えの解説を調べた内容を発表し、更に質疑応答に対応することができるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	臨床・障害 分野		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	重要な頻出ポイントを理解することができる	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	小テストを実施する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学検定本番に準じて時間配分が取れるようになる。	科目最終試験	試験問題の配布
		各コマにおける授業予定	科目最終試験		